

# もりふれ倶楽部通信 NO. 33

## 雑木林について もりふれ倶楽部理事長 楨原道夫

年度が替わりました。昨年度はますます多様化が要求される緑化推進の もりふれ倶楽部の活動に、様々なかたちでご参加いただき多様な活動を支援いただきました。お蔭様で もりふれ倶楽部は、県内はもちろん全国からも注目されるNPOに成長してきました。雑木林の多種多様な樹木のごとく、多様な能力集団である会員の皆様のさらなるかかわりを、今年度もよろしく願いたいします。

ところで、雑木林の雑木とは、一体どんな木を指しているのでしょうか。生物はそれぞれ多様な環境の変化に淘汰され、より進化した形で生まれてくるはずですが。雑木という言葉で表されるような樹木は、この世には存在しないはずですが。もうちょっとまじな名称はないのでしょうか。ちなみに辞書を見ると、

**雑木**：良材とならぬ種々雑多な樹木。薪材などにする木（広辞苑 岩波書店）

用材（土木、建築、家具製作などに用いる材木）にはならない木、または種々雑多な木（大辞林 三省堂）

**雑木林**：比較的日当たりのよいところを好むいろいろな木(陽樹)が混じって生えている林。陽樹林を作るが幼樹はその林床では、光量不足で生育できない。樹木としては寿命が短いものが多い

**陽樹林**：陽樹の作る森林、遷移の途中に森林形成の第1段階として出現し、陰樹の生育できる環境を提供した後に消滅する。（大辞林）

私的な解釈ですが、雑木とは、主に陽樹林(落葉樹が多い)を構成する、かつては生活必需品であった薪として日常生活に直結していた木々を指しているようです。

植物が光合成を行って正常な成長をするには、ある限度以上の光が必要です。即ち生活に必要なエネルギーを作り出す呼吸量よりも、より大きな光合成量があってはじめて生育できるのです。光合成量と呼吸量がちょうど等しくなる光の強さを光補償点といい植物の種類により大体決まっています。

樹木が混生し林内の光量が変化するにつれて、生育できる植物も変化していきます。これを遷移といいます。

山火事や崩壊等で一面が裸地になると、まずは補償点が高く生育の早い1年草が出現し、さらに多年草の草原が出現し、樹木でも成育できる土壌の安定を図ります。そこから森林形成が始まるのですが、当然まずは日当たりのよいところを好む補償点の高い陽樹が陰樹との生存競争の結果として雑木林なるものを創り出していきます。構成する樹木が繁茂するにつれ林内特に林床の受光量が減り、補償点の高い陽樹の幼樹は生育できなくなり、その林床の光量に適應できる補償点の低い陰樹(常緑広葉樹が多い)が生育を開始します。そして林内は一層薄暗い鎮守の森状態になって安定(極相林といいます)します。

即ち、雑木林(アカメガシワ、ヤシャブシ、コナラ、クリ、シラカバ等)は放置すればおのずと極相林(スダジイ、アラカシ、タブ、ブナ等)に遷移する運命にあるのです。

雑木林の維持は、“お爺さんは山に柴刈りに、お婆さんは川に洗濯に”が非常に大切なことのようにです。

# 津和野町「山の宝でもう一杯プロジェクト」

NPO法人もりふれ倶楽部事務局長 野田真幹

このプロジェクトは、平成22年度に隣県である鳥取県智頭町において実施された「木の宿場プロジェクト」の社会実験の成功に触発され、津和野町・NPO法人アンダンテ21・島根県西部農林振興センター益田事務所、そして、NPO法人もりふれ倶楽部が協働で実施しました。

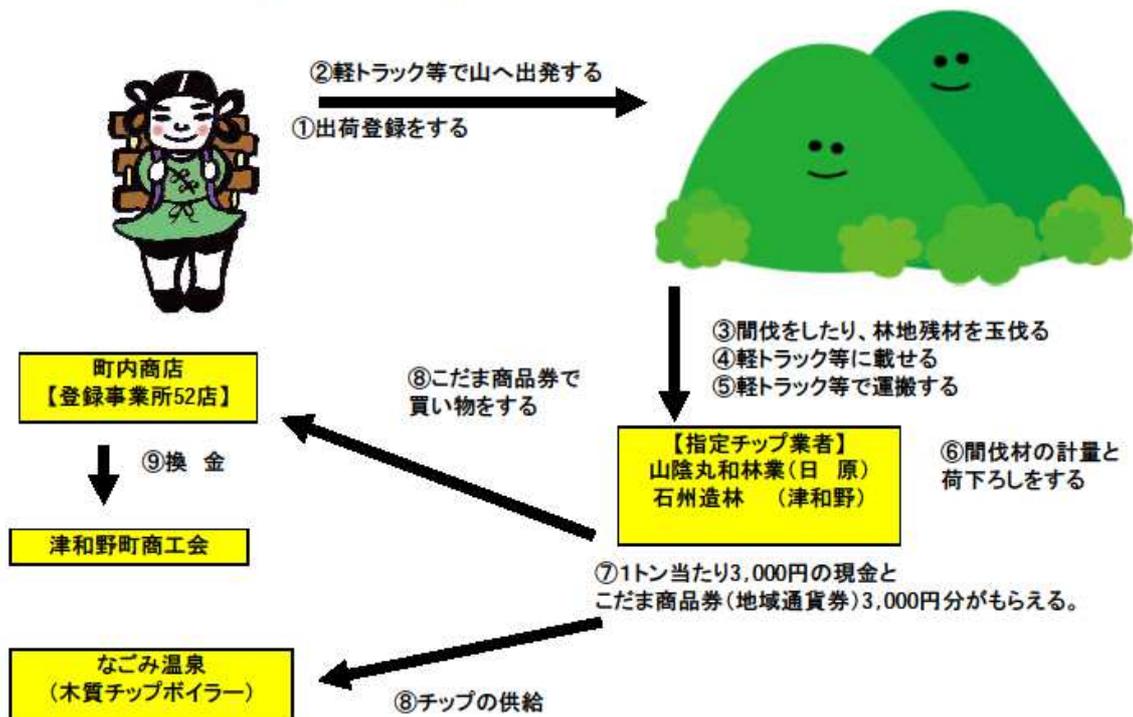
津和野町では、担当者の努力により、木の販売価格に上乘せして発行する地域振興券の予算は確保してありましたが、普及啓発や技術研修までは手が届かない状況でした。もりふれ倶楽部では、「木の駅プロジェクト」を支援したい思いがあり、普及や技術研修のノウハウは持っていますが、拠点が県東部の松江市のために横に長い島根県では津和野町まで、自動車でも片道4時間以上を要します。清流「高津川」を守るNPO法人アンダンテ21は、県西部の都市益田市に拠点があり、山との関わりを強めたいとの思いを持っていました。

この3者が協力し合うことにより、実施体制が確立されました。

次に、軽架線等機材の確保と著名人を招いたインパクトのある普及啓発・安全技術研修実施のために、国土緑化推進機構の「国民参加による間伐材及び間伐材の利用促進事業」へもりふれ倶楽部が、オープニングイベント・森の健康診断・細かいフォローを中心とした技術研修・報告イベントの実施のために島根県の「しまね協働実践事業」へ島根県西部農林振興センター益田事務所ともりふれ倶楽部がそれぞれ申請し、機材と資金を調達しました。これにより、県益田事務所の協力も得られることとなりました。

平成23年度が始まり、いよいよキックオフです。プロジェクトの目玉である10～12月の社会実験は以下の図のような仕組みで行われることとなりました。

## 「山の宝でもう一杯！」プロジェクト イメージ図



平成 23 年 8 月、全国的に「木の駅プロジェクト」をコーディネートされている丹羽健治氏をメイン講師に招き、オープニングイベントを開催しました。社会実験の参加ルールが役場担当者から説明された後に、講演会となり「木の駅プロジェクト」と「森の健康診断」をセットでおこなうことの大切さを丹羽氏が熱く語られました。

9 月、津和野町内 12 か所のスギやヒノキの人工林を対象に、台風にも負けず町内外から 45 名が参加して「森の健康診断」が実施されました。(悪天候のため、6 か所は後日有志 15 名で実施)この結果、調査対象の 75%が、過密または超過密と判定され、間伐の必要性が実感されました。

10 月 1 日、メイン講師に高知県から「木の駅プロジェクト」の創始者である NPO 法人土佐の森救援隊事務局長の中嶋健造氏を招き、技術研修と中嶋氏の「木の駅プロジェクト」に関する講演会を国土緑化推進機構「国民参加による間伐及び間伐材の利用促進事業」を活用して実施しました。町内の山林所有者を中心に約 40 名が集まり、「土佐の森軽架線キッドの設置と撤収」等、中嶋氏の直接指導で熱心に研修に取り組みられました。



ほとんどの人が、軽架線を張るのは初めてでしたが、2 回目にはスムーズに設置と撤収ができるまでになりました。伐木では、目標通りに伐倒することがいかに大切かを学び、うけ口の入れ方の訓練に励みました。



夜には、中嶋健造氏の「木の駅プロジェクト」に関する講演会が「なごみの里」で行われ、森林にかかわる人が林業事業者がボランティアの両極しかない現状を憂い、山主自身が山林にかかわる自伐林家層を元気づけようと「木の駅」プロジェクトをはじめたこと、高知で行われた実験では、大方の予想を覆し、事業者よりも自伐林家の方が持続的にたくさんの材を出したことが熱く語られました。



翌 2 日も、昨日に続き、町内の山林所有者を中心に約 40 名が集まりました。20 名ずつの午前・午後交代制で、「PC ウインチによる集材」、「土佐の森軽架線キッドによる集材」で研修を実施しました。PC ウインチは集材のみでなく、クレーンの代わりもします。(写真左上)



軽架線でどんどん集材が進むことに感心する参加者



上げられた材を交代で造材する参加者

この研修を経て、多くの山林所有者が「山の宝でもう一杯プロジェクト」に関心を持ち出し、その後のフォローアップ研修にも、のべ 70 名が参加されました。「チェーンソーのソーチェーンも目立てをせずに切れなくなったら新しく買っていた。目立てから教えて欲しい。」という声がたくさん聞かれ、目立てに力を入れた研修も増やしました。参加者の意識が前向きに変化していることを実感しました。

意識が徐々に高まる中で、材の利用目標 150 トンに対して、以下の表の通り 10~12 月と急上昇し、約 240 トンがバイオマス利用されることとなりました。

	10 月	11 月	12 月	計
山陰丸和	14.39 t	51.17 t	48.18 t	113.74 t
石州造林	1.95 t	24.77 t	93.35 t	124.10 t
計	16.34 t	79.97 t	141.53 t	237.84 t

平成 24 年 2 月、出荷者 3 名もパネルディスカッションに登壇いただき、報告イベントが実施されました。その内の 1 名は、はじめての集落ぐるみでの参加者の代表でした。

アンケート調査の結果にも出たのですが、「何のために参加したのか？」の問いに対してほとんどの方が「森林整備のため」と回答し、「小遣い稼ぎのため」はゼロでした。先祖から受け継いだ自分の山を整備したいとは思いつつもできなかった背中を、このプロジェクトは確かに後押ししたのかもしれない。

津和野町では、この 4 月から「山の宝でもう一杯プロジェクト」の通年実施が始まっています。

課題としては、最初は、出しやすいところから出せば良いのですが、奥へ間伐と集材を進めて行くためには、作業路を入れて行くことも急務となります。作業路を入れる技術の普及とそれに伴う支援も必要となります。また、事故があれば折角の盛り上がりも台無しになります。プロジェクト参加の輪が広がるに合わせて、さらなる技術研修が必要となります。

津和野町の取り組みの成功により、確実に県内での「木の駅プロジェクト」への関心は高まっています。林研グループ等も奥出雲町で仁多林研が町等の支援を得て実行委員会を組織し、今年度から社会実験を実施することとなっており、その動きをモデルとして県林研もバックアップしています。

**島根県の東端(奥出雲町)と西端(津和野町)で、  
今年「森の健康診断」実施！**

**両方ご参加の方には、**

**「島根県東西森の絆人」認定書を発行します！**

**島根県東西を結ぶ**

**「森の健康診断」の絆**

**西 津和野町**

日時・集合場所(申込み順に定員まで受け付けします。)平成 24 年 6 月 10 日(日) 9 時~ 17 時  
集合場所：日原山村開発センター 定員 40 名

**東 奥出雲町**

日時・集合場所(申込み順に定員まで受け付けします。)平成 24 年 9 月 17 日(月・祝)  
集合場所：カルチャープラザ仁多(中央公民館) 定員 40 名

参加費~各回 500 円 弁当やお飲みものは、各自御持参ください。

お申し込みはもりふれ倶楽部まで！

# 平成23年度 もりふれ倶楽部の歩み

## 11月19日(土)しまね町村フェスティバル

松江市向島町TSK「エリア8」を会場に、「輝け11しまね町村フェスティバル」が開催され、体験コーナーで、竹でつくる「ガリガリプロペラ」作りに挑戦してもらいました。

指導 野々村俊成、立野直樹、宮崎徳子



## 11月20日(日)木次町下熊谷子供会対応

ふるさと森林公園学習展示館を来館された木次町下熊谷子供会親子約50名に対して、ヒノキの和紙づくりと木切れや木の実を使った工作の指導を行いました。

指導 野々村俊成、三枝共子、宮崎徳子

## 11月20日(日)松江市城山公園自然観察会

松江市と共同主催で、松江市城山公園において、自然観察会を開催しました。小雨が降り寒い日でしたが、参加者は身近な公園の樹木を改めて見直しながらか観察しました。

スタッフ 福岡茂明、中村正志、洲濱寿晴、廣江百合子

国井加代子、野口朱美、高橋光二、小島郁子、長野和秀、野田真幹



## 11月20日(日)里山の森林整備体験会

島根県からの委託事業「里山自然塾番外編・里山の森林整備体験会」をNPO法人里山バイオマスネットワーク、NPO法人緑と水の連絡会議の協力を得てふるさと森林公園学習展示館と園内林地で実施しました。

指導 野田真幹、林幹夫(里山バイオマス)和田穰二(水と緑の連絡会議)



## 11月22日(火)しまね森づくりコミッション出前講座26

しまね森づくりコミッション出前講座の一環として、江津市立桜江中学校1年生31名に対して「森の大切さの講義」を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



## 11月26日(土)第6回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において「大人のための自然観察会」を開催しました。この日見られた植物の写真是、学習展示館に掲示しました。

指導 中村正志 ボランティア 百合沢博文、田口孝道

## 11月27日(日)第4回神話の里さくらおろちの食べごと塾

ふるさと森林公園学習展示館において、NPO法人さくらおろちとの協働事業として、「第4回神話の里さくらおろちの食べごと塾」を開催しました。

すもじ・八日焼きづくり等に取り組みました。指導：野田真幹他



## 12月1日(木)雲南市立日登小学校対応5

雲南市立西日登小学校5年生9名に対して、「ヒノキの皮から和紙づくり体験」の指導をおこないました。この事業は緑の募金の助成を得て行われています。

指導 野田真幹、藤原良浩(島根県)、宮崎徳子



## 12月2日(金)安来市立布部小学校対応

安来市立布部小学校3~4年生12名に対して、森林保全の大切さの話をしました。この事業は、緑の募金の助成を得て行われています。

指導 野田真幹、野田あや子



## 12月3日(土) 森林ボランティア(雲南西小学校)

雲南市立西小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、学校林間伐を行いました。  
スタッフ 竹田正彦、青木宣雄、田口孝道、谷口枝里子、中村正志、野田真幹

## 12月4日(日) 第8回里山自然塾 ~里山素材のリースをつくろう!~

「第8回里山自然塾~里山素材のリースを作ろう!」を開催しました。参加者25名は、ツルの採集からスタートし、公園内を散策しながらリース材料を採集し、リース作りに取り組みました。

講師 影山和美、中村正志 ボランティア 木村京子



## 12月6日(火) 島根県立出雲農林高等学校対応

ふるさと森林公園学習展示館において、島根県立出雲農林高等学校環境科学科1年生30名に対して、「現在の里山林の問題を体験的に学ぶ」をテーマに「里山の森林保全」の講義と竹筒ごはん等の竹の加工体験、「和紙づくり体験」の指導をしました。

指導 中村正志、響 繁則、福岡茂明、藤原良浩(島根県) 野田真幹、宮崎徳子

## 12月8日(木) しまね森づくり Kommission 出前講座 27

しまね森づくり Kommission 出前講座の一環として、大田市立池田中学校全校生徒9名に対して「森の大切さの講義」を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



## 12月10日(土) NPO法人しんじ湖スポーツクラブ対応

ふるさと森林公園学習展示館を来館された、NPO法人しんじ湖スポーツクラブ主催「12月どうようあそび塾」の皆様に対して、ヒノキ皮からの和紙づくりとヒノキの皮に牛乳パックを混ぜた和紙づくりの指導を行いました。

指導 野々村俊成、宮崎徳子

## 12月11日(日) 森林ボランティア(佐田町よし栗の里)

出雲市佐田町よし栗の里裏山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、森林整備作業を行いました。

スタッフ 青木宣雄、長野和秀、三枝綱一、狩野正二、稲岡英治、田口孝道  
中村正志、響繁則、野田真幹



## 12月14日(水) 雲南市立西小学校第3回みーもスクール

雲南市立西小学校4年生33名に対して、第3回みーもスクールとして、「ネイチャーゲーム」を実施しました。 指導 野田真幹、宮崎徳子

## 12月17日(土) 第7回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において「大人のための自然観察会」を開催しました。この日見られた植物の写真は、HPにアップするとともに、学習展示館に掲示しています。どうぞご覧下さい。

指導 中村正志 ボランティア 百合沢博文、田口孝道

## 12月18日(日) 第5回神話の里のさくらおろちの食べごと塾

ふるさと森林公園学習展示館において、NPO法人さくらおろちとの協働事業として、「第5回神話の里さくらおろちの食べごと塾」を開催しました。

餅つき、奥出雲の雑煮等 講師 響繁則、藤原人美他



## 1月8日(日) 第9回里山自然塾 ~これぞ春の七草~

「第9回里山自然塾~これぞ春の七草」を開催しました。参加者25名は、島根県森林インストラクターの横原道夫氏から春の七草の話しと採集のための知識、他の草との見分け方や薬効を学び、公園内や公園近くのフィ

ールドへ七草を探しに出かけました。また、無農薬有機栽培米の玄米を使った七草粥を美味しくいただきました。



講師 榎原道夫、中村正志 ボランティア 木村京子

### 1月8日(日)とんどさん

NPO法人もりふれ倶楽部では、宍道湖西岸森と自然財団とともに、ふるさと森林公園で伝承文化としてのとんどさんを開催しました。地元を中心に約50名の参加がありました。事務局対応



### 1月9日(祝)第8回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において「大人のための自然観察会」を開催しました。この日見られた植物の写真は学習展示館に掲示しました。

指導 中村正志 ボランティア 竹田正彦



### 1月12日(金)出雲農林高校対応

島根県立出雲農林高等学校において、環境科学科1年生30名に対して、「シイタケの植菌体験と林産物を考える」をテーマに「シイタケ生産方法」「林産物を考える」の講義と「シイタケ植菌体験」の指導を行いました。

指導 響 繁則、野田真幹



### 1月13日(金)安来市立布部小学校対応

安来市立布部小学校5～6年生に対して「ヒノキの皮から和紙づくり体験」の指導を行いました。この事業は、緑の募金の助成を得て行われています。

指導 野田真幹、野田あや子



### 1月17日(火)しまね森づくりコミッション出前講座28

しまね森づくりコミッション出前講座の一環として、吉賀町立六日市小学校5年生12名に対して「森の大切さの講義」と「ヒノキの皮から和紙づくり」体験の指導を行いました。指導 野田真幹、岡本一徳(アンダンテ21)

### 1月18日(水)安来市立布部小学校対応

安来市立布部小学校5～6年生に対して林業体験指導を行いました。この事業は、緑の募金の助成を得て行われています。

指導 中村正志、野田真幹、野田あや子



### 1月20日(金)雲南市立西小学校第4回みーもスクール

雲南市立西小学校4年生33名に対して、第4回みーもスクールとして、「ヒノキの皮から和紙づくり体験」を実施しました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



### 1月27日(金)松江市母衣小学校第3回みーもスクール

松江市母衣小学校6年生83名に対して、第3回みーもスクールとして「ヒノキの和紙作り体験」指導を行いました。

指導 中村正志、野田真幹、宮崎徳子

### 1月28日(土)森林ボランティア(佐田町よし栗の里)

出雲市佐田町よし栗の里裏山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、森林整備作業を行いました。

スタッフ 竹田正彦、青木宣雄、野々村俊成、三枝鋼一、三枝共子  
岡田邦博、稲岡英治、響繁則、野田真幹



### 1月29日(日)第5回森林ボランティア講座

島根県立ふるさと森林公園での国際森林記念イベントとして、第5回森林

ボランティア講座「チェーンソーの基本と実践を学ぶ！」を開催しました。

講師 坂越浩一、遠藤正資、穂井田頼、与倉清二、響繁則、野田真幹

### 1月30日(月)しまね森づくりコミッション出前講座29

しまね森づくりコミッション出前講座の一環として、益田市立戸田小学校4年生12名に対して「森の大切さの講義」と「樹木観察」、5年生11名に対して、「森の大切さの講義」と「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 中村正志、安達美香(アンダンテ21)



### 2月2日(木)しまね森づくりコミッション出前講座30

しまね森づくりコミッション出前講座の一環として、松江市立出雲郷小学校特別支援学級4名に対して「木切れ工作」の指導を行いました。 指導 野田真幹

### 2月3日(金)しまねもりづくりコミッション出前講座(企業対応)

しまね森づくりコミッション出前講座の一環として、平成松江市に本社を置かれている、サンベ電気株式会社さんに対して「森林保全の講義」を行いました。 講師 野田真幹



### 2月4日(土)森林ボランティア(佐田町よし栗の里)

出雲市佐田町よし栗の里裏山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、森林整備作業を行いました。

スタッフ 青木宣雄、長野和秀、三枝鋼一、稲岡英治、響繁則、野々村俊成、中村正志、野田真幹

### 2月5日(日)第10回里山自然塾 ~竹を楽しむ!~

島根県からの委託事業「第10回里山自然塾~竹を楽しむ」を開催しました。参加者26名は、島根県森林インストラクターの中村正志氏からの指導で、竹筒で炊き込みご飯を作り、竹のフライパンでオムレツを作り、自分で作った竹皿や箸を使って試食しました。午後からは、竹の灯明づくりにチャレンジしました。最後に里山の竹問題について話を聞きました。

講師 中村正志 ボランティア 木村京子、藤田健一、坂本英希



### 2月14日(火)雲南市立西日登小学校対応

雲南市立西日登小学校5年生9名に対して、「森林保全の講義」をおこないました。この事業は緑の募金の助成を得て行われています。 指導 野田真幹

### 2月17日(金)第5回みーもスクール(雲南市立西小学校)

雲南市立西小学校4年生33名に対して、第5回みーもスクールとして、「森林保全の大切さの講義」と「巣箱の設置」を実施しました。

指導 中村正志、野田真幹、矢野綾子(島根県)



### 2月25日(土)斐川子ども応援団てんとう虫の植樹

斐川町荒神谷遺跡公園において、斐川子ども応援団てんとう虫の植樹イベントの指導を行いました。

スタッフ 青木宣雄、野々村俊成、立野直樹、谷口枝里子、中村正志  
野田新幹

### 2月27日(月)松江市玉湯中学校対応

松江市立玉湯中学で、3年生約50名を対象に、間伐の大切さについて、雑木林の利用と環境について、竹の増加問題等について話をさせていただきました。 指導 野田真幹



### 3月4日(日)第11回里山自然塾～木と火の里山での出会い！燻製と花炭づくりを楽しむ！～

島根県からの委託事業「第11回里山自然塾～木と火の里山での出会い！燻製と花炭づくりを楽しむ！」を開催しました。参加者30名は、島根県森林インストラクターの洲濱寿晴氏からの指導で、木の実や、竹を使って花炭づくりに挑戦しました。また、出雲市大社町のスモークハウス白南風の青木章氏から、ナラ、サクラの原木を使った本格的な燻製作りの基本を学びました。

指導 洲濱寿晴、青木章



### 3月10日(土)「森聞き」上映

学習展示館・奥出雲町阿井コミュニティセンターにおいて、柴田昌平監督、「森聞き」を上映しました。トーク 響繁則



### 3月18日(日)第6回森林ボランティア講座

島根県立ふるさと森林公園での国際森林記念イベントとして、第6回森林ボランティア講座「間伐の実践を学ぶ！」を開催しました。

講師 坂越浩一、響繁則

### 3月20日(火)森林ボランティア(佐田町よし栗の里)

出雲市佐田町よし栗の里裏山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、森林整備作業を行いました。

スタッフ 青木宣雄、長野和秀、三枝鋼一、響繁則、野田真幹

### 3月24日(土)森林ボランティア(佐田町よし栗の里)

出雲市佐田町よし栗の里裏山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、巣箱10個の設置、樹名板30枚の設置、植樹指導を行いました。

スタッフ 青木宣雄、三枝鋼一、長野和秀、立野直樹、中村正志、野田真幹



～思い出してみよう、ふるさとの食事！思い出してみよう、おばあちゃんが作ってくれた食事！そして、食卓の温かさ！

## 神話の里さくらおろちの食べごと塾パート2

### 斐伊川の上下流を結ぶ素敵な「食材」巡り

毎回、楽しく調理体験をしながら、さくらおろち湖周辺の素敵な「食材」を再発見してゆきます！

各回、定員は20名で先着申し込み順にお受けします。(メニューにより20名以上お受けする場合があります。)

宍道会場開催以外は、無料送迎バスが、県庁郵便局前8時15分発、ふるさと森林公園学習展示館前9時10分発で出ます。

参加費は各回千円です。昼食代を含みます。

プログラムは、農家・加工グループ・料理研究家・主婦等が語り合う中で生まれました。

第1回 6月24日(日) 10時～15時 会場：松江市 ふるさと森林公園学習展示館	「梅」「玉ねぎ」「えんどう」「たきな」「たかな」等 オープニング さくらおろち食神話物語
第2回 7月29日(日) 10時～15時 会場：奥出雲町 阿井コミュニティセンター	「なす」「きゅうり」「いんげん」「ささげ」「とまと」「くるこ(筍)」等 水源地の食を巡る人物神話
第3回 8月26日(日) 10時～15時 会場：松江市 ふるさと森林公園学習展示館	「みょうが」「地生えきゅうり」「いとうり」「芋づる」「かぼちゃ」等 夏の恵みを楽しむ
第4回 9月22日(土) 10時～15時 会場：奥出雲町布勢 アトリエえん	「米」「さつまいも」「えだまめ」「麦」等 古民家で秋の食神話に浸る
第5回 10月14日(日) 10時～15時 会場：奥出雲町三沢 味工房三沢	「こんにゃく」「なめたけ」「ひらたけ」「雑きのこ」等 女流匠に教わるこんにゃくづくり
第6回 11月25日(日) 10時～15時 会場：雲南市温泉 温泉高齢者活動促進施設	「だいこん」「はくさい」「さといも」「かぶ」 寒さも楽しむ温か食神話
第7回 12月16日(日) 10時～15時 会場：雲南市温泉 温泉高齢者活動促進施設	「もち」「そば」 食の恵みに感謝しつつ年を越す
第8回 1月13日(日) 10時～15時 会場：雲南市尾原 野外地場 温泉高齢者活動促進施設	「いのしし」「みそ」等 尾原地区の巨大とんどさんと温かいおもてなし料理を楽しむ エンディング



## もりふれ倶楽部今後の予定

5月19日(土) 10時～15時 安来市立布部小学校学校林

森林ボランティア1日限りの作業班：竹林整備

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

前日正午まで申し込め受けします。会員の方には、若干の交通費補助を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

5月20日(日)10時~15時 里山の憩い講座 島根県民の森

竹筒で炊きたけのご飯と春の苔玉づくり

参加者募集中:参加費500円 注.参加申し込みお問い合わせは、0854-76-3119 もりのす

5月26日(土)9時30分~27日(日)15時 島根県森林インストラクタースキルアップ研修

集合:中山間地域研究センター 「森林の手入れ体験」「森林の整備とセットで楽しむ体験紹介」他

参加者募集中(会員限定):参加費6,000円(宿泊3食込 26日の昼食は持参)

注.参加申し込みお問い合わせは、050-3533-1695 しまね森林活動サポートセンター

6月10日(日)9時30分~11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

第1回大人のための自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。(16歳以上のみ参加できません。)

参加者募集中:参加費100円 持ち物~カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中:9時~12時~若干の交通費補助支給

6月10日(日)9時~17時 津和野町日原山村開発センター

第2回津和野町森の健康診断 島根県東西を結ぶ「森の健康診断」の絆パート1

参加者募集中:参加費500円

6月16日(土)9時~17時 阿井公民館 森の健康診断リーダー研修

参加者強く募集中(会員限定)

第1回奥出雲町「森の健康診断」9月17日でリーダーをやってみたい方(経験者・初心者問わず歓迎!)

6月17日(日)10時~15時 里山自然塾「笹と竹は友達!笹巻きと竹とんぼ!」

参加者募集中:参加費300円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物~弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

6月24日(日)10時~15時 神話の里さくらおろちの食べごと塾 ふるさと森林公園学習展示館

「梅」「玉ねぎ」「えんどう」「たきな」「たかな」等オープニング さくらおろち食神話物語

参加者募集中:参加費1,000円

6月30日(土)10時~15時 安来市立布部小学校学校林遊歩道と広場

森林ボランティア1日限りの作業班:草刈り

参加者募集中:1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

前日正午まで申し込め受けします。会員の方には、若干の交通費補助を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

7月1日(日)10時~15時 里山自然塾「ヒノキの和紙でつくる竹行燈で情緒ある日本の夜を!」

参加者募集中:参加費300円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物~弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

## もりふれ倶楽部会報

NO.33

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352ふるさと森林公園学習展示館内

もりふれ倶楽部 TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール [morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.morifure.jp/>